

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月5日

上場会社名 株式会社エーアイ 上場取引所 東  
 コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理グループ統括 (氏名) 前田 忠臣 TEL 03 (6801) 8402  
 四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	514	12.1	50	-	51	-	53	-
2023年3月期第3四半期	459	△17.1	△6	-	△6	-	△4	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	10.78	-
2023年3月期第3四半期	△0.97	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,499	1,244	83.0
2023年3月期	1,393	1,191	85.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,244百万円 2023年3月期 1,191百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	720	13.6	55	176.6	55	145.4	80	388.8	16.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,168,000株	2023年3月期	5,168,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	220,069株	2023年3月期	220,069株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	4,947,931株	2023年3月期3Q	5,003,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、世界情勢の更なる不安定化を背景とする中でも新型コロナウイルスによる混乱からの経済正常化は進み、景気の回復傾向は引き続き鈍化はしているものの物価上昇圧は緩和しており、観光分野でのインバウンド需要や設備投資は引き続き堅調に推移しております。

当社を取り巻く環境においては、かねてより取り組んでいた次期音声合成エンジン開発において、10月に新エンジン「AITalk 6」を発表し、その最初の製品化として12月に「A. I. VOICE2」を販売開始いたしました。また、コンシューマー向け分野において、オンラインくじサービス「からもるくじ」や、他社IPとのコラボレーションをした日本酒のオンライン販売、当社IPである琴葉姉妹の10周年記念ライブ開催に向けたクラウドファンディングの実施等、幅広く展開いたしました。法人向け分野においても、防災分野での補助金を背景として堅調に推移しております。今後は、セレンス社の外国語音声合成エンジンを組み込んだAITalk 6 SDKの提供を開始するとともに、フュートレック社との経営統合を進め、音声合成の周辺事業分野を強化してまいります。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は514,532千円（前年同期比12.1%増）、営業利益は50,502千円（前年同期は営業損失6,872千円）、経常利益は51,163千円（前年同期は経常損失6,163千円）、四半期純利益は53,316千円（前年同期は四半期純損失4,848千円）となりました。

なお当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりませんが、特性に応じた3つの区分別の売上高につきましては、法人向け製品231,760千円（前年同期比19.2%増）、法人向けサービス156,914千円（前年同期比10.6%増）、コンシューマー向け製品125,857千円（前年同期比2.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比較して106,322千円増加し、1,499,834千円となりました。これは主に、関係会社株式が926,328千円、売掛金が52,327千円、ソフトウェアが38,252千円増加し、現金及び預金が917,720千円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比較して53,006千円増加し、255,460千円となりました。これは主に、1年内償還予定の社債が30,000千円、社債が120,000千円、その他に含まれる未払金が15,885千円、買掛金が9,297千円増加し、短期借入金が130,000千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比較して53,316千円増加し、1,244,374千円となりました。これは、利益剰余金が53,316千円増加したことによるものです。なお、減資により資本金が51,481千円減少し、資本剰余金が51,481千円増加しております。

この結果、自己資本比率は83.0%（前事業年度末は85.5%）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想については、2024年1月31日公表の「2024年3月期 通期の業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,236,795	319,075
売掛金	79,337	131,665
商品及び製品	5,754	7,299
仕掛品	1,388	2,880
原材料及び貯蔵品	1,355	1,007
未収還付法人税等	7,030	4
その他	27,569	16,887
貸倒引当金	-	△584
流動資産合計	1,359,232	478,236
固定資産		
有形固定資産	13,361	11,366
無形固定資産		
ソフトウェア	8,167	46,420
ソフトウェア仮勘定	-	666
無形固定資産合計	8,167	47,086
投資その他の資産		
関係会社株式	-	926,328
その他	12,751	33,607
投資その他の資産合計	12,751	959,935
固定資産合計	34,280	1,018,388
繰延資産		
社債発行費	-	3,210
繰延資産合計	-	3,210
資産合計	1,393,512	1,499,834
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,606	14,904
短期借入金	150,000	20,000
1年内償還予定の社債	-	30,000
リース債務	717	739
未払法人税等	1,866	132
契約負債	18,469	17,553
その他	24,401	51,296
流動負債合計	201,061	134,624
固定負債		
社債	-	120,000
リース債務	1,392	835
固定負債合計	1,392	120,835
負債合計	202,453	255,460
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	151,481	100,000
資本剰余金	206,135	257,617
利益剰余金	1,120,508	1,173,824
自己株式	△287,067	△287,067
株主資本合計	1,191,058	1,244,374
純資産合計	1,191,058	1,244,374
負債純資産合計	1,393,512	1,499,834

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	459,159	514,532
売上原価	116,962	143,093
売上総利益	342,196	371,439
販売費及び一般管理費	349,068	320,937
営業利益又は営業損失(△)	△6,872	50,502
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	4
為替差益	590	-
講演料収入	87	18
補助金収入	100	1,250
還付加算金	76	30
業務受託料	-	600
未払配当金除斥益	42	47
その他	0	80
営業外収益合計	902	2,030
営業外費用		
支払利息	77	1,118
為替差損	-	69
社債発行費償却	-	181
自己株式取得費用	115	-
営業外費用合計	193	1,369
経常利益又は経常損失(△)	△6,163	51,163
特別損失		
固定資産除却損	-	0
抱合せ株式消滅差損	-	13,066
投資有価証券評価損	-	2,353
特別損失合計	-	15,420
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,163	35,742
法人税、住民税及び事業税	297	320
法人税等調整額	△1,613	△17,894
法人税等合計	△1,315	△17,573
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,848	53,316

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月22日開催の定時株主総会決議に基づき、資本金の額の減少(減資)を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が51,481千円減少、資本剰余金が51,481千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が257,617千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は音声合成事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (重要な後発事象)

## (重要な契約の締結)

当社は、2024年1月16日開催の取締役会決議に基づき、株式会社エーアイ（以下「エーアイ」といいます。）と株式会社フュートレック（以下「フュートレック」といい、エーアイとフュートレックを総称して「両社」といいます。）との経営統合に関する基本合意書を締結しております。

## 1. 本経営統合の背景と目的

## (1) 本経営統合の背景

エーアイは、2003年4月の設立以降、音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供に係る事業を行ってまいりました。「エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます」との企業理念を定め、声が作れる「便利さ」と声をつくる「楽しさ」を追求し、音声技術で社会の約に立つサービスの創出に努めてまいりました。中核技術である日本語音声合成エンジンについては研究開発から製品開発、販売、サポートを全て社内で行っております。また、成長戦略の一つとして「事業領域の拡大・新しいマーケットの創出」を掲げ、音声合成のみならず、音声技術やその周辺技術に関するサービスを総合的に提供できる会社となることを目指しております。

一方、フュートレックは、2000年4月に携帯電話用に特化してビジネスモデルの提案から具現化まで一貫して提供できる半導体設計会社として設立されて以来、「社会の変化に柔軟に対応して、その時代に求められる商品を追求めし、継続的に発展する会社を目指す。」という経営理念のもと、ソフトウェアの開発から各種サービス事業への展開、M&Aの実施等により事業内容を変化させてまいりました。現在、フュートレック及びその連結子会社3社は「音声認識事業」、「デジタルマーケティング事業」「映像制作事業」及び「システム開発事業」を運営しており、「音声認識事業」と「デジタルマーケティング事業」を中核事業と位置付け、事業拡大を図っております。「音声認識事業」においては、話者を識別する「話者識別技術」や、利用者が認識させる文章を任意に追加学習させることができる「モデル自動作成システム」等の周辺技術を開発し、音声認識と組み合わせることによる付加価値の提案とともに営業活動を推進しております。

以上のように、両社は音声関連技術分野を事業の中心とする研究開発企業として事業を展開しておりますが、業界を取り巻く環境につきましては、社会全体でのAI関連技術の進化が加速し、新規参入企業の増加など企業間の競争が激しくなっております。さらに、大規模言語モデルに代表されるAI技術の進歩により対話シナリオの自動生成が可能になったことで、両社が保有する単一技術だけでなく、近接する技術領域も加えた音声対話ソリューションのニーズが増加しております。

このような状況下において、両者は2019年4月16日に業務提携契約書を締結し、音声合成技術及び音声認識技術を活用した音声対話システムや双方のソリューションを活用した製品化の検討を進めてまいりました。そして、2022年末頃、エーアイは、当時フュートレックの筆頭株主であったグローリー株式会社（以下「グローリー」といいます。）より、グローリーの保有する全てのフュートレック株式の売却の打診を受けたことに踏まえ、フュートレックと共に両者間における事業上のシナジーの可能性について議論を重ねた結果、フュートレック株式の取得により、両社において新たな成長機会を創出、実現することが可能であると結論に至りました。

そして、両社は2023年5月に資本業務提携契約書（以下「本資本業務提携契約書」といいます。）を締結し、2023年6月に、エーアイは、公開買付けによりグローリーの持つフュートレック株式を取得し、現時点で、エーアイはフュートレック株式を議決権比率で40.54%を所有しております。

その後、両者は本資本業務提携契約書に基づき、資本業務提携委員会を発足し、両社が持つ研究開発技術や製品・サービス、及び営業のノウハウ等について協働関係を構築し、互いの強みを活かしたシナジー効果を発揮すべく、議論を重ねてまいりました。その結果、研究開発のスピードアップや技術開発力の強化、顧客へのサービス提供力の向上、各事業のエンジニアによる情報交換や人的交流を進め、収益力向上や業務効率化等を最大限に発揮するには、両者の経営統合を目指すことが最善であると判断し、この度基本合意書を締結するに至りました。

## (2) 本経営統合の目的

両社のこれまでの事業活動の成果である、顧客基盤や競争優位性のある技術・ソリューションを両社で共有し、「音声合成」及び「音声認識」双方に強みを持つことにより、音声関連技術を保有する研究開発企業として、国内の新たなトップランナーを目指してまいります。また、フュートレックのもう一つの中核事業であるCRM事業を中心としたデジタルマーケティング事業と音声関連技術事業の2つを事業の両輪として、企業価値の更なる向上を図ってまいります。加えて、経営統合によって企業規模の拡大が図られ、より強固な経営基盤の確立や管理部門の統合による経営機能のスリム化により収益力の向上の実現を目指してまいります。



## 2. 本経営統合の要旨

## (1) 本経営統合の方式

両社は、2024年6月に開催予定の両社の定時株主総会の承認及び本経営統合に必要な関係当局の許可等の取得を前提として、2024年10月1日に本経営統合を実施する予定としております。また、本経営統合の具体的な方法及び本経営統合後の体制等については、今後、両社の合併を基本としつつ様々な選択肢の協議及び検討を重ね、本経営統合に関する最終契約締結までに決定いたします。なお、エーアイによるフュートレック株式の追加取得を行う公開買付けは想定しておりません。

## (2) 本経営統合の日程

本基本合意書の締結に関する取締役会決議（両社）	2024年1月16日
本経営統合に関する基本合意書締結	2024年1月16日
本経営統合に関する最終契約締結	2024年5月（予定）
定時株主総会（両社）	2024年6月（予定）
本経営統合の効力発生日	2024年10月1日（予定）

## 3. 相手会社の概要

## ①名称 株式会社フュートレック

## ②直近（2023年3月期）の連結の財政状態及び経営成績等

売上高	1,662,556千円
当期純損失（△）	△663,938千円
総資産	3,318,833千円
負債	1,329,534千円
純資産	1,989,299千円
従業員数	97名

## (投資有価証券の売却)

当社は、政策保有株式の見直しと、資産の効率化及び財務体質の強化を図るため、2024年1月24日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の全て（非上場株式1銘柄）を売却することを決議し、2024年1月31日に売却いたしました。これに伴い2024年3月期において、39,845千円の投資有価証券売却益（特別利益）を計上いたします。